

施策分析シート（令和8年度）

No1

施策名	交通環境の整備	施策No	12-03	部課名	防災都市づくり部都市計画課
関連部課名	防災都市づくり部土木管理課				
行政評価 事業体系	分野	VI	安全安心都市		
	政策	12	利便性の高い都市基盤の整備		

目的	交通不便地域における高齢者や障がい者の移動の利便性向上を含め、区内の公共交通網の充実を図る。また、放置自転車をなくして安全で安心して通行できる道路環境を整備することに加え、環境に配慮した駅前空間を創出する。
----	---

指標	幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文		
			5年度	6年度	7年度			
	①	交通利便性	3.88	3.86	3.86	お住まいの地域は交通の便が良いと感じますか？		
	②	生活環境の充実	3.24	3.27	3.34	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？		
	③							
	④							
	施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			5年度	6年度	7年度	8年度 見込み	目標値 (8年度)	
	①	コミュニティバスの乗車人員（人／日）	1,831	1,300	598	604	604	令和7年3月の「汐入さくら」廃止に伴い、目標値を見直した
	②	自転車放置率（％）	4.0	3.5	2.4	1.8	1.8	放置台数／（放置台数＋駐車場利用台数）
③	自転車置場 自転車駐車場 定期登録者数（人）	6,504	6,610	6,600	6,800	6,800	7年度 置場3,316人、駐輪場3,284人	
④	自転車通行空間整備延長（m）	4,500	6,450	7,110	7,990	8,450	整備延長（m）は累計である	
⑤								

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目		6年度	7年度	差額	行政収入	勘定科目		6年度	7年度	差額
	行政費用	給与関係費	56,633	57,999	1,366		地方税等		0	0	0
		物件費	225,739	244,281	18,542	行政収入	国庫支出金		0	0	0
		維持補修費	15,375	24,029	8,654		都支出金		0	10,066	10,066
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金		0	0	0
		補助費等	21,068	41,530	20,462		使用料及び手数料		112,287	129,152	16,865
		減価償却費	85,609	85,609	0		その他		26,824	18,052	▲ 8,772
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)		139,111	157,270	18,159
		賞与・退職給与引当金繰入額	7,348	11,209	3,861		行政収支差額(a)-(b)=(c)		▲ 272,661	▲ 322,474	▲ 49,813
		その他行政費用	0	15,087	15,087		金融収支差額(d)		0	0	0
		行政費用合計(b)	411,772	479,744	67,972		通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 272,661	▲ 322,474	▲ 49,813
	特別費用	特別費用(g)	0	0	0	特別収入	特別収入(f)		0	0	0
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)		▲ 272,661	▲ 322,474	▲ 49,813
貸借対照表	勘定科目		6年度	7年度	差額	流動負債	勘定科目		6年度	7年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0		還付未済金		0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	特別区債		0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金		2,604	2,738	134
	固定資産	有形固定資産	1,700,392	1,661,566	▲ 38,826	固定負債	その他の流動負債		0	0	0
		土地	711,201	742,342	31,141		固定負債		29,339	34,949	5,610
		建物	507,247	507,247	0		特別区債		0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 392,618	▲ 406,295	▲ 13,677		退職給与引当金		29,339	34,949	5,610
		工作物等	2,083,046	2,098,689	15,643		その他の固定負債		0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 1,208,485	▲ 1,280,416	▲ 71,931		負債の部合計		31,943	37,687	5,744
		無形固定資産	0	0	0	正味財産	正味財産		1,668,449	1,623,879	▲ 44,570
	その他の固定資産	建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計		1,668,449	1,623,879	▲ 44,570
		その他の固定資産	0	0	0		負債及び正味財産の部合計		1,700,392	1,661,566	▲ 38,826
	資産の部合計		1,700,392	1,661,566	▲ 38,826						

財務諸表に関する特徴的事項等

- 行政費用のうち、物件費は主に放置自転車撤去や自転車駐車場管理運営費等の委託料、その他の行政費用は自転車駐車場の設置工事に係る経費である。また、補助費等はコミュニティバスの運行事業者への車両購入費助成により増加した。
- 行政収入のうち、都支出金はコミュニティバスの運行事業者への車両購入費助成に対する補助金等である。その他は自転車駐車場の整備に係る助成金や自転車駐車場の指定管理者制度に伴う指定管理料の返納金等である。
- 貸借対照表における有形固定資産は、放置自転車撤去や自転車置場・駐車場管理運営に関するものである。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○「コミュニティバス」については、平成17年度の導入開始以来、路線の拡大もあって、平成30年度までは1日平均乗車人員は増加傾向にあった。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が大幅に減少し、さらに労働時間等の基準改正に伴って運転手不足に拍車がかかり、運行事業者は路線の維持が困難となり、現在は「さくら」の1路線のみ運行となっている。廃止となった路線の代替機能の確保を目的に、「町屋さくら」のルートの一部においては、令和5年度にはタクシーを活用したデマンド交通の実証運行を、その後、令和8年1月からは病院間送迎車を経由させる実証運行を開始した。また、令和7年度には運行継続を条件として、運行事業者に車両購入費の補助を行った。 ○区では、これまでに4か所の自転車等駐車場、13か所の自転車置場を整備し、約6,600台の定期利用及び約1,300台の一時利用が可能となっている。南千住駅前や町屋駅前では、民間駐輪場の整備が進み、いずれも収容可能台数は区営自転車駐車場の規模に匹敵する1,000台以上となっている。新型コロナウイルス感染症の影響により、自転車駐車場の定期登録者数が大幅に落ち込んだことを踏まえ、指定管理の方式を令和5年度から利用料金制から使用料制に変更した。また、効率的な放置自転車撤去を進めるため、令和7年度からは警告/撤去/保管/返還等を一連で行う包括業務委託を導入した。
課題	○燃料代の高騰、労働時間等の基準改正等による運転手不足等により、バス業界全体が厳しい経営状況におかれ、地域公共交通を取り巻く状況は厳しいものとなっている。これを受けて、国は令和6年に医療機関等の車両等、地域資源を活用しての無償運送により、地域における交通手段の確保を促す通達を自治体に出した。また、本年6月には、いわゆる地域公共交通活性化再生法等の一部改正も行われた。区はこれを受け、バス事業者に頼らずに地域交通の整備を検討できるようになり、この検討の際には様々な移動手段を対象とした交通に関する調査が必要となる。 ○放置自転車数は大幅に減少しているものの、駐輪場の確保台数や駅と駐輪場の距離など、区外の駅を含め、駅によって対応すべき課題が多様化している。また、自転車の大型化に対応できるよう駐車場や置場を整備していく必要があり、今後、再開発が予定されている地区においては、適当な駐輪スペースを確保する必要がある。さらに、導入した放置自転車対策の包括業務委託の効果を見極めていく必要がある。
今後の方向性	○本年6月、汐入地区において区と地域の方が協力し、雨天時の通勤通学時間帯に自家用車を使って駅まで送る実証運行を開始した。今後、既に行っている病院間送迎車の実証運行とともに検証を重ねていく。また、まちづくりマスタープランの策定検討に併せて、多様な交通施策の展開に資する調査を幅広く実施することを検討する。 さらに、コミュニティバスの運行事業者に対する、事業継続につながる支援について検討する。 ○自転車の放置禁止区域の拡大に向けた調整や、自転車大型化への対応を進めるなど、効果的な放置自転車対策を検討する。また、駅前再開発事業に当たっては、大型自転車駐輪場の整備をはじめ、それぞれの状況に応じた放置自転車対策及び駐輪空間確保に努める。さらに、旧南千住第三幼稚園の園庭を整備して開設した三ノ輪橋自転車置場を活用し、三ノ輪橋及び三ノ輪の駅周辺の駐輪対策を進める。

施策の分類		分類についての説明・意見等
8年度	9年度	
推進	推進	多様な交通手段確保による利便性の向上、及び快適な道路環境の整備を推進していく。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		6年度	7年度	6年度	7年度	8年度	9年度	
日暮里駅総合改善事業	11-01-17	1,977	2,827	—	—	継続	継続	日暮里駅整備㈱の適切な運営に関する調整を継続して実施する。
多様な交通手段の確保	11-01-18	8,947	37,470	50	24,746	推進	推進	コミュニティバスの安定的な運行を目指し、事業者と連携しながら利用促進策を協議していくとともに、新たな地域交通の検討など、多様な交通手段を確保していく。
放置自転車撤去	11-03-14	124,382	135,293	105,935	118,952	推進	推進	駅前放置自転車の無いまちを目指して、放置自転車を撤去していくことにより、安全で快適な生活環境の維持・向上を図る事業であるため、推進する。
自転車置場・自転車駐車場管理運営	11-03-15	276,501	304,154	171,932	209,175	推進	推進	放置自転車対策として、自転車を駐車するための施設を整備し、区と指定管理者それぞれにおいて、効率的・効果的な管理運営を行う事業であるため、推進する。
合 計		411,807	479,744	277,917	352,873			